

自己評価結果公表シート

〔九十九里中学校〕

1 学校教育目標

礼節を重んじ、豊かな心とたくましさを持ち、自主的・自律的に生きる生徒の育成 合言葉 ～ 挨拶・返事・掃除・歌声 ～ ～ 99+1 (プラスワン) ～ [めざす生徒像] [めざす学校像]	
1 礼儀正しい生徒	1 生徒が楽しく登校できる学校
2 よく働く生徒	2 安全で安心して過ごせる学校
3 思いやりのある生徒	3 挨拶と歌声が響く学校
4 やる気のある生徒	4 清潔で花いっぱい学校
5 よく運動する生徒	5 活気が満ちあふれる学校
6 よく学習する生徒	

2 本年度の重点目標・特色ある取組み

(1) 礼節を重んじ、自らの判断で行動し、正しく生きようとする生徒を育む。 (心のこもった挨拶、清々しい返事の励行)
(2) 変化する時代に対応して個々の夢を実現するために、自ら学び、努力を続ける生徒を育む。 (個に応じた指導の実践、ICT機器の活用を通じた学習内容の深化)
(3) たくましく生き抜く気力・体力・学力を身につけ、自己を磨き、他を思いやる生徒を育む。 (無言清掃の励行、歌声活動の充実、適応指導の充実)

3 具体的な評価項目の取組・達成状況

(1) 礼儀正しい生徒・思いやりのある生徒の育成

① 規範意識の醸成。	B	「あいさつや言葉遣い、身だしなみ（服装、髪型）がきちんとしている」については、生徒・保護者ともに93%以上が肯定的な回答をしている。全体的には生徒は礼儀正しく、日々落ちついた生活を送っている。規範意識については、校則を守って生活している生徒が多く、守ろうとする意識も高い。しかし、SNSに関連した人間関係のトラブル等が毎年複数発生しているため、コミュニケーションやSNS・インターネットについての指導を次年度も外部講師を活用するなどして、引き続き徹底していく。 「交通ルールをきちんと守り、登下校している」については、生徒・保護者ともに肯定的な回答が多い。しかし、自転車の乗り方については、並列走行や走行中の携帯電話の使用などで、地域の方から苦情をいただくことも多い。また、保護者の車での送迎のため、渋滞が発生し、周辺道路利用者の迷惑となることもしばしばある。今後も、生徒への指導と保護者の啓発を継続していく。 校則については、社会の変化に合わせて、生徒や保護者の意見を尊重しつつ、学校教育目標の実現に資するよう今後見直しをしていく。
② 元気なあいさつ。	A	「あいさつや言葉遣いがきちんとしている」については、生徒・保護者ともに93%以上が肯定的な回答をしている。あいさつは、学校教育目標の柱の1つであり、今年度も職員自ら率先垂範を心がけて指導にあたった。毎年、地域の方からあいさつについてお褒めの言葉をいただき、生徒の励みになっている。しかし、一部にあいさつのできない生徒もいるため、自己肯定感やコミュニケーション能力の向上を目的として、今後も職員が率先垂範を意識すると共に生徒会を中心とする挨拶運動を展開させるなどして、意識の向上を図る。

<p>③安心できる学校。</p>	<p>A</p>	<p>「学校に来るのが楽しい」については、生徒の肯定的な回答が 92.3%と、昨年度 (87.6%) より 4.7%増加している。多くの生徒が学校生活を前向きな気持ちで送っている一方、最も否定的な「あてはまらない」と回答した生徒が昨年度 (1%) から今年度は 2.4%に増加しており、学校生活に馴染めない生徒が一定数存在する。今後さらに多様な生活実態と価値観をもつ生徒に寄り添った対応が求められている。保護者の肯定的な回答も昨年度 (84.2%) から 87.3%に伸びた。「子どもは家で家族とよく会話している」の肯定的な回答が昨年度 (88.6%) から 93.1%に 4.5%増加していることも関連していると思われる。</p> <p>「いじめのない集団づくり」については、98.5%の生徒が肯定的な回答をしているのに対し、保護者の肯定的な回答は 85.9%にとどまった。生徒間のトラブル (SNS 関連を含む) やいじめが数件あったことが原因と考える。</p> <p>「困ったときに先生が相談に乗ってくれる」「生徒や保護者からの相談に適切に対応している」については、生徒の肯定的な回答が昨年度から 3.4%増えた 98.1%であるのに対して、保護者の肯定的な回答は昨年度から 17.9%も増加し 91.9%に達した。担任や学年職員が教育相談週間や三者面談だけでなく、普段から生徒・保護者とのコミュニケーションを大切にして丁寧に対応してきたことが評価されたものと考えたい。今後も教職員の生徒指導・保護者対応のスキル向上を図るとともに、月に一度の生活アンケートを活用し、職員間の連携強化を図りながら、生徒一人ひとりの状況把握に努め、保護者とも情報共有を図り、チームで素早く対応していく。</p>
------------------	----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) やる気のある生徒の育成・よく働く生徒の育成

評価項目	結果	理由
<p>①目標をもって前進する力の育成</p>	<p>B</p>	<p>「学校行事や委員会等の生徒会活動」については、生徒が 88.5%、保護者は 82.1%の肯定的回答であった。共に昨年度から若干減少しているが、昨年度と変わらない行事や委員会活動に、生徒が充実感や達成感を感じにくくなっていることも考えられる。生徒が自分たちの力で成し遂げたという感動を味わえるよう、工夫をしていく必要がある。</p> <p>「自分には良いところがあると思う」については、昨年度と同様の 8割弱の肯定的な回答であったため、今後も向上を目指し、生徒が自己肯定感を高められる機会を今後もつくっていききたい。保護者アンケートでは「学校は子どものよいところを理解し、それを伸ばそうと指導している」に 86.2%の肯定的回答があった。保護者が学校の生徒指導に対して信頼していただいている証左であると考え、今後も生徒のよいところ見つけて伸ばす指導を推進していく。</p>
<p>②地域の教育力を生かしたキャリア教育の充実</p>	<p>A</p>	<p>「キャリア教育の充実」については、1学年が「職業人に聞く」、2学年が「職場体験」、3学年が「高校模擬授業」など、わかりやすい活動もあるため、生徒・保護者ともに 98%を越える肯定的な回答を得ている。資源回収や海岸清掃など、学校主体での地域活動への参加はしているが、「地域の活動に参加」への評価が生徒・保護者ともに低い。年間を通じて町のイベントへの参加募集もあるので、情報提供を行いながら、参加への機会を増やせるようにしたい。また、今後も地域人材の活用を推進し、さまざまな業種と関わったり、いろいろな方々の人生観を学んだりすることでキャリア育成にも結びつけていきたい。</p>

(3) よく運動する生徒の育成

<p>①基本的な生活習慣は身につけているか</p>	<p>B</p>	<p>生徒の88.5%が、「朝食を毎日食べている」と回答している。また、「平日1日の平均睡眠時間」は6時間以上の生徒が87.5%であることから、概ね基本的な生活習慣が身につけているといえる。しかし、携帯電話やパソコンの利用時間（学習目的以外）の割合が3時間以上の生徒が52.9%と昨年度から4.1%も増加しており、生活習慣が乱れと共に学力の低下も心配される。使用時間のルールづくりなど、学校での指導には限界があり、家庭での協力も必要である。</p> <p>心身の健康を保つ上でも朝食、睡眠、スクリーンタイムの管理は重要であり、学校では、様々な機会を通して生徒が自身で健康管理できるように指導すると共に、家庭との連携を図りながら基本的な生活習慣の確立と向上に努めていく。</p>
<p>②部活動の充実</p>	<p>A</p>	<p>生徒数の減少による部活動数の削減から4年が経過している。現在、部活動の加入数は、全体の7.2%で、各々が大会等での入賞に向けて頑張っている。また、スポーツクラブなど外部団体に参加している生徒も全体の1.3%おり、各種大会で活躍している。特に水泳では関東・全国で活躍する生徒もいる。今後は、部活動の地域移行にともなった体制づくりが必須となっており、町の協力のもと、推進していく。</p>

(4) よく学習する生徒の育成

<p>①学習規律・学習習慣が確立している</p>	<p>B</p>	<p>「わかりやすい授業」「授業での教材等の工夫」への肯定的な回答が、生徒が99.5%、保護者が87%以上と高く、授業へ意欲的に取り組んでいる生徒も多い。そのため学習規律も確立している。</p> <p>家庭での学習習慣では、学習時間が0～2時間未満の生徒が、70.2%で、昨年度(68.6%)より増加しており、さらに0～1時間未満の生徒は34.1%で、昨年度の(26.7%)よりも7.4%増加している。これまで学校では自学ノートの提出など、家庭での学習を指導してきたが、これからはさらに、個に応じた家庭学習の方法を生徒と共に考え、主体的に学びに向かう姿勢を促すとともに、生徒が学習について相談しやすい関係性や環境、積極的に相談できる生徒の育成に力を入れていく。また、家庭と学校が連携を図り、喫緊に取り組むべき課題の1つとして捉え、協力体制を確立していきたい。</p>
<p>②授業の充実</p>	<p>A</p>	<p>「わかりやすい授業を行っている」について、生徒は99.5%、保護者は87.7%の肯定的な回答をしている。今年度も1、2年生は年2回、3年生は年6回の実力テスト、共通で4回の定期テストを実施し、結果を考察しながら、基礎学力の定着を推進した。学力向上の手立てとしては、授業でのICT機器の活用、確認テストやドリル学習を実施した。また、今年度も全国学力・学習状況調査において、記述式問題の結果が低かったため、授業の工夫改善の一環として、授業の最後に自分の言葉で授業の感想や気づいたことを書かせることを継続している。さらに、月に数回、文字数を増やし書かせる取り組み(R80)や新聞を使ったNIEの活動も行っている。回数を重ねるごとに、各々の書く力の成長がみられ、次年度も引き続き実施していく。</p>

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<p>9項目中、A評価が6項目、B評価が3項目であり、総合評価はAとした。</p> <p>本年度も学校教育目標を達成するため、重点目標を定め、様々な取り組みを行ってきた。予定していた行事も全て実施できており、生徒にとっても充実した1年であったと考える。</p> <p>教育課程は、感染症による学級閉鎖もあったが、柔軟に対応し、各教科の授業実施率はほぼ100%を達成できそうな見通しである。</p> <p>課題としては、今年度も学習習慣の確立、学力向上への対応、長期欠席生徒への対応、交通ルールの遵守、携帯電話等の使い方、利用時間があげられる。1つ1つ丁寧に、チーム学校体制で、生徒や保護者の視点を大切にされた指導に取り組み、今後も信頼される学校づくりを推進していきたい。</p>

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
学力の定着 (基礎・基本の定着)	<ul style="list-style-type: none"> ○わかりやすく、興味・関心を引き出す授業の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的・深い学びの確立(研修の充実) ・生徒の学習意欲を引き出す指導方法の工夫 ・相互授業参観 ・ICT機器の積極的な活用 ○くり返し学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた家庭学習の習慣化と内容の充実 ・学習計画・学習記録 ○学習規律の確立 ○思考力・判断力・表現力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・毎回授業の終わりに、自分の言葉で振り返りや気づきをまとめる。
生徒の視点に立った 学校づくりの推進 (長期欠席生徒の解消)	<ul style="list-style-type: none"> ○学校生活の更なる充実 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣 ○達成感、成就感のある学校行事の企画運営 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体性を伸ばす行事の工夫 ○生徒理解のための相談活動の充実と指導スキルの向上 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒とのコミュニケーションスキルの向上 ○いじめ防止対策のさらなる徹底
清掃活動についての意識高揚	<ul style="list-style-type: none"> ○清掃活動に対する意識を高める手だての工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の率先垂範 ・管理分担に責任をもたせ、活動内容を明確化 ・生徒会活動による相互点検の充実と自主改善
積極的なあいさつへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつへの意識の向上(受動から能動へ) <ul style="list-style-type: none"> ・相手に敬意を払い、場に応じたあいさつの実施 ・生徒会活動(生活委員会)によるあいさつ運動の充実 ・教職員の率先垂範
望ましい判断力・行動力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○規範意識の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の充実

	<ul style="list-style-type: none">・交通ルール遵守・情報モラル教育の推進（SNS・インターネット利用マナー等）・マナーやルールについて理解を深める話し合い活動の充実・チャンスを逃さない指導・教職員の指導に対する共通理解と根気強い丁寧な指導・対処的ではなく、積極的な生徒の内面に迫る指導の推進
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------